

# 立大セントポールプラザ

東京都豊島区

1990



5号館広場からみた本建物西面

この建物は、立教学院創立110周年の記念事業として建設されたものである。

明治15年(1882)に築地居留地内に開校した立教学院は、大正7年(1918)池袋の現在地に移転した。アーチと時計台のある2階建ての赤レンガの校舎は、池袋校の開校時に建てられた最も古い建物で、本館と呼ばれている。

正門から本館に至る前庭一帯は、立教大学のキャンパスの中でもっともシンボリックなゾーンであり、「東京都の都市美モデル地区」に指定されている。

この事業部会館の建つ敷地は、立教通りを挟んでシンボルゾーンとちょうど向かい合う位置となり、食堂・時計台・アーチ・正門と一本の軸線上にこの建物の入り口がある。

平成13年(2001)に完成したキャンパス再開発によって、今までの重苦しかったレンガ塀が撤去され、季節感溢れるキャンパス内部の風景を楽しむことが出来るようになった。



正門から時計台を望む



本館アーチから事業部会館を望む



正門から見た本建物の全景



階段室内部



夜景



株式会社 茜 設計

敷地面積 / 503.91 m<sup>2</sup>  
建築面積 / 350.83 m<sup>2</sup>  
延床面積 / 1,004.04 m<sup>2</sup>

構造 / 鉄筋コンクリート構造  
階数 / 地上3階建 地階なし  
施工 / 清水建設株式会社